

# 日米共同訓練中止。 オスプレイ参加撤回を

## 7団体・3政党が上越市等に要請

1月18日に北関東防衛局から上越市などにされた通知によると、3月上旬から中旬にかけて、関山演習場で日米共同訓練が行われ、米軍新型輸送機MV-22オスプレイの参加も調整中とのことです。

オスプレイは構造的欠陥から過去に何度も墜落したことがある航空機で、昨年12月には沖縄県名護市で訓練中の同機種が墜落するという重大事故も発生しています。関山演習場の近くには、小中学校、保育園、住宅地などがありますが、名護市での事故原因すら特定されていないにもかかわらず、飛行訓練をするなど絶対に許されません。

また、前回の日米共同訓練では、訓練期間中に油漏れ事故を起こし、住民に不安を与えた経過もあります。なによりも、米軍再編で日米軍事同盟が強化され、平和憲法までもが改悪されようとしている中、関係地域住民の不安、心配の声は今まで以上に高まっています。

このことを受けて、2月1日、地区労



連など7団体と日本共産党など3政党が連名で上越市、妙高市、防衛省に要請書を届け、「市民の生命及び財産を守るため、墜落の危険を伴う欠陥機・オスプレイが関山演習場での訓練に参加しないよう、関係機関に強く求めるとともに、日米共同訓練そのものを中止するよう働きかけること」を強く要請しました。

上越市では、土橋副市長らが対応しましたが、「市としては市民生活に影響がないようにスムーズに訓練が行われることを要請した」と述べるのみで、国の決めたことなので、これ以上踏み込んだことは言えないとの姿勢に終始しました。



MV-22オスプレイ

# 「長岡市には斎場が6つあるのに 上越ではどうして1カ所なのか」

## 市政報告会で市民から切実な意見相次ぐ



日本共産党議員団は1月26日、柿崎区で市政報告会を開きました。参加した約20人の市民を前に、橋爪団長が挨拶した後、平良木議員がこの間の市政の特徴的な動きを説明しました。話題の中心は、新しい上越斎場の建設に伴って、当初廃止するという方針が示された頸北斎場の存廃問題です。市は、方針提示後の市民の猛

反発を受けて、引き続き地域協議会と定例的に協議するという姿勢に変化しましたが、複数の斎場を並行して存続させることは明言していません。こうしたことを受けて、参加した市民からは「長岡市には斎場は6カ所あり、そのうち老朽化した栃尾の斎場は同地に再建する計画であると聞く。他市でできることがどうして上越ではできないのか」「これから斎場の需要が増えてくる。頸北斎場の利用範囲に浦川原を含めるなど、配分を考えると現在の3カ所の活用でうまくできるはずだ」などの鋭い指摘が出されました。

また、県教委が久比岐高校の将来の生徒募集を継続を明言していないことから、柿崎の行く末に關する懸念が出されました。特に、柿崎駅の一日の乗降客約1300人のうち、約500人が高校生であり、柿崎に高校が

なくなるようなことになって柿崎駅が無人化されたり優等列車が停まらなくなったりするようでは、街として成り立たなくなるとの声が出されました。県立柿崎病院も、医師が他の基幹病院などに異動させられたらやっつけられないなどの切実な指摘もありました。駅の件では、以前、国鉄の労働組合などの取り組みで団体客を確保し、優等列車の停車を維持した例が紹介される中で、市としてもぜひ駅の維持を考えてほしいとの願いが出されました。そのほかにも、「頸北消防署には消防車が少ないようだが、人口に応じた数になっているのか」「日中の火災の際に頼りになるのは女性だが、女性消防団員も放水訓練が必要ではないか」「公営墓地はどうなっているのか」「若い人たちが住みやすいまちづくりで人口増を考えるべきだ」「刀剣の購入などはとんでもない話だ」などの意見が出されました。

### 日本共産党上越市議員団ニュース

No. 533 2017年2月12日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
 絡 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)  
 先 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)